

Defi-Link **ADVANCE** Control Unit SE

デフィリンクアドバンスコントロールユニットエスイー取扱説明書

DF17701/DF17702/DF17703



このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。お客様・取り付け業者様ともに、ご使用前に本書を全て必ずお読みいただき、正しいお取り扱い方法でご愛用いただけますようお願い申し上げます。

なお、本品の装着に関する事故や弊害につきましては、いかなる場合においても、当社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承くださいませようお願い申し上げます。

1. 目次

2. 安全・取り扱いに関するご注意【必ずお読みください】	4
2.1. 取り付け作業をする前に(取り付け業者様へ)	5
2.2. 取り扱いに関して(お客様・取り付け業者様へ)	9
3. 特長(お客様へ)	11
4. 仕様(お客様・取り付け業者様へ)	12
4.1. 接続可能機種	12
4.2. DF17701/02/03とDF07701/03の相違点	13
4.2.1. パネルデザイン	14
5. 構成部品(お客様・取り付け業者様へ)	15
6. 補修・オプションパーツ(お客様・取り付け業者様へ)	16
7. 各部名称・寸法(お客様・取り付け業者様へ)	17
8. 取り付け方法(お客様・取り付け業者様へ)	20
8.1. 内容物の確認	20
8.2. 全体の流れ	20
8.3. 取り付け最終確認	23
8.4. ハンダ付けのやり方・エレクトロタップの使い方	24
9. 使用方法(お客様へ)	25
9.1. スイッチ・ボタン呼称	25
9.2. 各種設定・動作確認	26
9.3. オープニング・エンディングモード	27
9.3.1. オープニング・エンディングモードの変更	27
9.4. リアルモード	28
9.4.1. ワーニング	28
9.4.2. オープン・ショート・シリアル通信のエラー表示	28
9.4.3. 照明	29
9.4.4. 差圧表示	29

9.5.	気筒数設定モード	30
9.6.	タコメーター応答性設定モード.....	31
9.7.	設定モード.....	31
9.7.1.	ワーニング値の設定.....	32
9.7.2.	ワーニングブザー ON/OFF の変更.....	33
9.7.3.	照明色の変更	33
9.7.4.	ターボ計(2.0 または 1.2)・インマニ計のオフセット調整	34
9.8.	リアルピークモード.....	34
9.9.	リアルピークリセットモード	35
10.	トラブルシューティング(お客様・取り付け業者様へ)	36
11.	保守・点検・保証・アフターサービス(お客様・取り付け業者様へ).....	38

本製品は ADVANCE シリーズのメーター・ディスプレイの動作に必要な製品です。本製品のみでは機能しません。メーター・ディスプレイとともにご使用ください。また、メーター・ディスプレイの取り付け時には各製品の取扱説明書と合わせてお読みください。

本書では本製品をアドバンスコントロールユニット、コントロールユニット、ユニットなどの呼称で記載しております。必要に応じてアドバンスコントロールユニットSEに読み替えてください。

2. 安全・取り扱いに関するご注意【必ずお読みください】

本製品は車両情報を表示する製品です。本製品をお取り付けの前に本取扱説明書及び取り付ける車両のメーカーが発行している整備解説書、配線図に示されている内容や安全に関する注意事項をよくお読みいただき、十分に理解された上でお取り付けいただけますようお願い申し上げます。また、本製品(及び本製品の取り付けられている車)を他の人に貸し出したり譲渡する場合は、取扱説明書と保証書を必ずお渡しください。

本書では、取り扱いを誤った場合などの危険の程度を「危険」「警告」「注意」の3つのレベルで分類しています。また、本製品を安全に正しくお使いいただくために必ず行っていただきたい事項と、守っていただきたい事項を「確認」として分類しています。内容をよくお読みいただき、十分に理解された上でお取り付けください。

△危険	取り扱いを誤った場合、死亡、又は重傷を負うことがあり、かつその切迫度合いが高いことが想定される場合。
△警告	取り扱いを誤った場合、死亡、又は重傷を負う可能性が想定される場合。
△注意	取り扱いを誤った場合、傷害を負う危険が想定される場合、または物的損害の発生が想定される場合。
確認	「必ず行っていただきたい事」、「必ず守っていただきたい事」を示しています。

注意内容の性質表示

△	△は、注意(警告を含む)をしなければならない記号です。
⊘禁止	⊘は、行為を禁止する記号です。(絶対にしてはいけない事です。)
●強制	●は、行為を指示する記号です。(必ず行っていただくことです。)

2.1. 取り付け作業をする前に(取り付け業者様へ)

△危険

- ⊖製品は水のかかる場所、湿気の多い場所には取り付けないでください。ショート事故による火災の原因となり大変危険です。
- ⊖ステアリング、ブレーキなどの運転操作に直接関係する部位付近には配線しないでください。運転の妨げによる事故の原因となり大変危険です。
- Ⓛ作業を行う時は必ず車が動き出さないような措置をし、エンジンを停止してから行ってください。作業中に車が動き出したり、火災の原因となり大変危険です。
- Ⓛ配線作業中は必ずキーシリンダーから鍵を抜き、バッテリーのマイナス(-)ターミナルを外してください。ショート事故による火災の原因となり大変危険です。
- Ⓛシートベルトやエアバックなどの安全装置や、エンジン、ステアリング、ブレーキなどの走行性能と直接関係する部位のハーネスの加工時及び配線の接続時(ネジの脱着など)は誤配線に十分注意してください。車両不具合による事故や火災の原因となり大変危険です。
- Ⓛ配線の接続はハンダ付けを行うか、エレクトロタップかギボシを使用し、接続部の絶縁を必ず行ってください。また、配線に衝撃やテンションがかかる場所は、緩衝材やコルゲートチューブなどで保護してください。ショート事故による火災の原因となり大変危険です。
- Ⓛ電源配線時、電源ハーネスに断線がないか、または断線しかかかっていないか確認してください。ショート事故による火災の原因となり大変危険です。
- Ⓛ電源配線時、IGN ハーネス接続ラインの車両側に 30A 以下のヒューズがあることを確認してください。30A を超えるヒューズの場合、ショート故障の際に溶断せず火災の原因となり大変危険です。
- Ⓛヒューズが切れた場合は速やかに製品の使用を中止してください。続けて使用するとショート事故による火災の原因となり大変危険です。また、車両の故障や事故の原因となります。
- Ⓛ製品に付属しているヒューズを交換する場合は、必ず規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量を超えるヒューズを使用した場合、火災の原因となり大変危険です。
- Ⓛ製品が故障したり誤動作した場合は速やかに製品の使用を中止してください。続けて使用すると車両の故障や事故の原因となります。

△警告

⊙本製品を絶対に改造や分解しないでください。保証の対象外となるだけでなく故障や事故の原因となります。



改造・分解

⊙エンジン停止直後は絶対に作業を行わないでください。エンジン停止直後はエンジンや排気管が非常に高温になっており、火傷を負う可能性があります。

⊙作業中は幼児・子供等を近づけないでください。部品等が外れて飲み込む等の恐れがあります。

⊙乗員保護装置(エアバッグ等)の作動に影響を及ぼす場所に取り付けしないでください。保護装置作動時にケガの恐れがあります。

①本体の取り付け位置について

国土交通省の定める道路運送車両の保安基準の改正(平成 17 年 1 月 1 日)に伴い、下記の範囲内の視界を確保することが義務付けされました。ダッシュボード上に機器を取り付ける際は、下記の図のように運転者の視界を妨げないように取り付けてください。

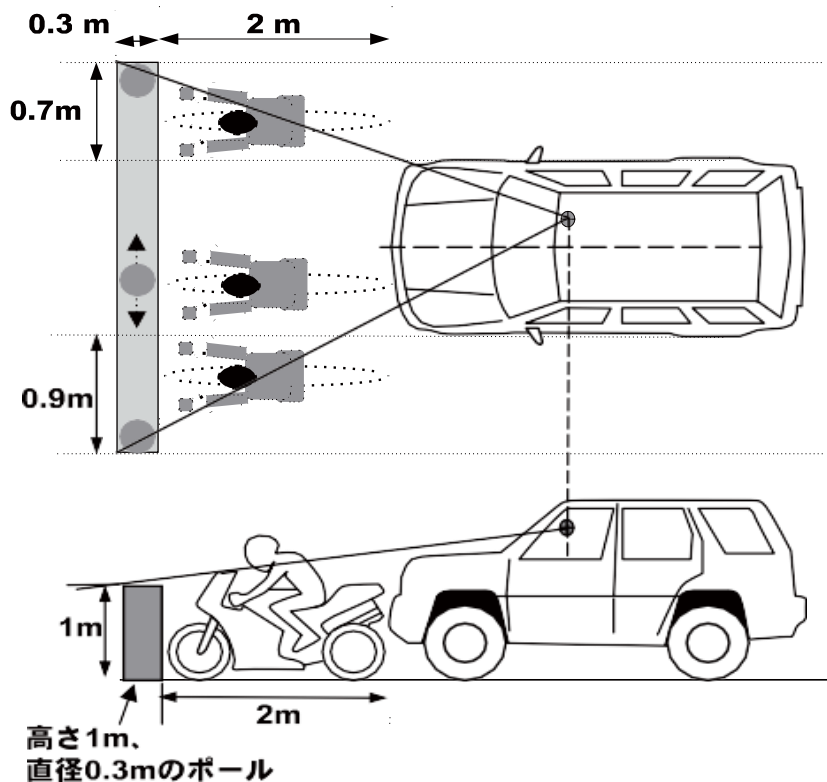
前方視界基準

■対象車種

- ・専ら乗用の用に供する自動車(乗員定員 11 人以上のものを除く)
- ・車両総重量が 3.5 トン以下の貨物自動車

■基準概要

- ・自動車の前方 2mにある高さ 1m、直径 0.3mの円柱(6 歳児を模したもの)を鏡等を用いず直接視認できること。



❶ 取り付け箇所・取り付け方法は慎重に検討し、絶対に脱落しないようにしてください。特に安全装置や運転の妨げになる位置に製品を取り付けないでください。誤った取り付け箇所・取り付け方法は、製品の脱落や車両破損の原因、運転の妨げとなります。

❷ 必ず既存の配線がショート及び断線しないように本製品の配線を行ってください。また、車速・エンジン回転数信号の配線の際は、以下の順で配線作業を行ってください。手順を誤ると車両のコントローラーなどを破壊する恐れがあります。

- 1.最初にアドバンスコントロールユニットの電源配線を行ってください。
- 2.イグニッションキーオン時にアドバンスコントロールユニットの電源確認マークが点灯することを確認してください。
- 3.バッテリーのマイナス(-)端子を再度外し、車速・エンジン回転数信号の配線作業を行ってください。

△注意

⊙ 本製品に過大な力をかけたり、ぶつけたり、落としたりしないでください。故障の原因となります。

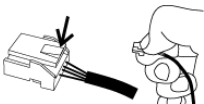
⊙ 本製品の端子などに必要以上の力を加えないでください。破損の原因となります。

⊙ 本製品付属のハーネス以外で配線をしないでください。

⊙ ハーネスは、エンジン、排気管、過給機付近には配線しないでください。ハーネスの破損、溶断の原因になります。

⊙ 本製品は、水のかかる場所、湿気やほごりの多い場所、ヒーターの吹き出し口やその周辺には取り付けないでください。

⊙ コード、特にコネクタ部を強く引っ張らないでください。破損の原因となります。コネクタを抜く際は、ロックを確実に押しながら抜いてください。



⊙ インstrumentパネルの助手席側及びセンターに本製品やアドバンスコントロールユニットを埋め込まないでください。車両の保安基準に適合しません。

❸ 12V仕様車専用です。12V車以外には取り付けないでください。



❹ 使用しない配線は絶縁テープなどで完全に絶縁してください。また、取り付け時に外したり、ゆるめた部品やコネクタ、新たに配線したものは必ず正しく組みつけ、固定してください。

❺ 車体やネジ部などに、配線をはさみ込まないようにしてください。故障の原因となります。

❻ ハーネスは点火信号や無線、HIDユニットのハーネスなどのノイズの発生しそうな場所を避けて配線してください。点火系などのノイズは製品誤動作の原因となります。

- ❶ 本製品やメーター・ディスプレイに無線機や携帯電話等電波を発する機器を近づけないように設置してください。誤動作の原因となります。
- ❷ エンジンルーム内で配線を分岐する際は、防水処理を確実に行ってください。センサーを取り付ける際は、センサー近くのハーネス部分を曲げないように取り付けてください。
- ❸ ハンダ付けで火傷をしたり、配線・部品の端面・尖った部分等に当たり手を切傷することがないように手袋を着用してください。
- ❹ センサーは熱のこもらない場所、及び水のかからない場所を選んで取り付けてください。センサー破損の原因となります。
- ❺ サンシールドを使用する場合は、フロントガラスと製品の上に置くようにして製品が日陰になるようにしてください。
- ❻ 清掃するときは、電源を切り、眼鏡拭きやスモーククリーナーのような乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れを落とす場合は、中性洗剤に浸してよく絞った布で拭いてください。有機溶剤(ベンジン、シンナーなど)、酸・アルカリ類は使用しないでください。

確認

- ❶ 取り付けは必ず本書に従ってください。
 - ❷ バッテリーのマイナス(-)ターミナルを外すと、メモリー機能を持ったオーディオや時計などの記憶内容が消去される物があります。作業終了後、それぞれの取扱説明書に従って設定し直してください。
 - ❸ 取り付け作業が終了しましたら、スタートガイド、保証書、残りの部品、パッケージは必ずお客様にお渡しください。
 - ❹ 純正部品の取り付け、取り外しに際しては、カーメーカー発行の整備書を確認してください。
 - ❺ 電源配線前に、分岐する車両配線の電圧を確認してください。配線後、電源ハーネスのコネクター側で再度電圧を確認してから製品に接続してください。
 - ❻ ナビゲーションシステムやカーテレビを取り付けている場合は、それら本体やアンテナ、モニター、ハーネス類からできるだけ離して本製品の配線、取り付けを行ってください。近付けたり、ハーネスを一緒に束ねたりするとテレビ表示に影響を与える場合があります。
- △取り付け作業の際に純正部品等が破損、紛失しても、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

2.2. 取り扱いに関して(お客様・取り付け業者様へ)

△警告

⊙本製品を絶対に改造や分解しないでください。保証の対象外となるだけでなく故障や事故の原因となります。



改造・分解

⊙走行中は安全のため本製品の情報の確認は最小限の時間にとどめ、長時間凝視しないでください。前方不注意による事故の原因となり大変危険です。

⊙「表示がでない」などの故障状態や、「水などがかった」「煙が出た」「変な匂いがする」などの異常な状態では使用しないでください。万一そのような状態が発生しましたら、すみやかに販売店、取り付け店にご連絡ください。そのままご使用になりますと、事故や火災の原因となり大変危険です。

❶本製品はお買い上げいただいた販売店またはディーラーで取り付けてください。個人でお取り付けされた場合、保証の対象外となります。

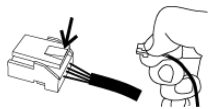
❶車両の警告灯(エンジンチェック警告灯など)が点灯した場合には直ちに車両を停止し、エンジンをオフしてください。車両の警告灯が点灯している状態で車を使い続けると、車両故障や事故の原因となり大変危険です。

❶操作は車を停止して行ってください。

❶幼児・子供等がスイッチやその他の部品を飲み込まないようにインパネ等にしっかりと固定してください。

△注意

⊙コード、特にコネクター部を強く引っ張らないでください。破損の原因となります。コネクターを抜く際は、ロックを確実に押しながら抜いてください。



△本製品の使用、または故障により生じた直接・間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

確認

⊙旧 Defi-Link システムとリンクさせることはできません。アドバンスシステムのみと接続できます。

❶製品の表示は参考値です。純正メーターの指示で運転してください。

❶エンジン回転数信号を入力する場合の対応気筒数は 1・2・3・4・5・6・8 気筒の 4 サイクルです。ディーゼル車には取り付けできません。

❶ 電源・信号の配線については Web サイトの適用車種検索をご参照ください。

❷ 取り付け後も定期的に点検を実施し、十分注意してご使用ください。使用環境や条件等によって耐久性が落ちる場合があります。

❸ 本製品を長期間使用しないときは車両から外してください。廃棄するときは、各自治体の指示に従ってください。

△ アイドリングストップ車の場合、アイドルストップ時のバッテリー電圧の降下によりエンジン始動復帰時に製品の電源がオフ/オンする場合がありますが、製品の異常ではありません。

3. 特長(お客様へ)

- ・アドバンスシステム(双方向通信)採用
- ・アドバンスシリーズのメーター・ディスプレイを最大 7 台まで集中操作
- ・2 台目以降のメーター追加は、メーター間の接続とセンサーからアドバンスコントロールユニットに配線するのみ
- ・夜間照明付きリモコンスイッチにより手元操作が可能
- ・ADVANCE FD/ZD をリンクすることでメーターの照明を自動調節
- ・2 種類から選択可能なオープニングモードとエンディングモードで演出
- ・自己診断機能により、断線・ショート・通信エラーを診断し、ワーニング表示でお知らせ
- ・任意のワーニング値設定可能、ワーニング表示と同期してブザー音でも警告(ブザー音は ON/OFF の設定が可能)
- ・燃圧センサーとターボセンサーを接続することで燃圧計もしくは ADVANCE FD/ZD に差圧表示可能

4. 仕様(お客様・取り付け業者様へ)

電源電圧	10V ~ 16V DC (12V 車専用)	
アドバンスコントロールユニット消費電流 (メーターまたはディスプレイ合わせて 7 台接続時の最大値)	+B(バッテリー)線	2A (IGN ON 時) 1mA (IGN OFF 時)
	+ILM(イルミ)線	5mA
照明色	ユニット電源確認マーク：白 スイッチユニット・文字：白 (照明点灯時) スイッチユニット差圧表示インジケータ：青	
対応気筒数	1・2・3・4・5・6・8 (4 サイクル)	
外形 (mm)	各部名称・寸法参照	
イルミ入力	①イルミ信号 (スモールランプONで12Vになる線) ②イルミコントロール信号 周波数：50~300Hz 電圧範囲：5~16V 最小パルス：0.2msec以上	

温度範囲 (すべて湿度 80%以下とする)	保存温度範囲	動作温度範囲
アドバンスメーター・ディスプレイ	-30 ~ +80℃	-20 ~ +60℃
コントロールユニット	-30 ~ +80℃	-20 ~ +60℃
スイッチユニット	-30 ~ +80℃	-20 ~ +60℃
ターボセンサー	-30 ~ +100℃	-30 ~ +80℃
圧力センサー	-30 ~ +140℃	-30 ~ +120℃
温度センサー	-30 ~ +150℃	-20 ~ +150℃
排気温度センサー	-30 ~ +130℃	-30 ~ +130℃

※センサーのコネクター部は 105℃以下

※排気温度センサーはセンシング部分は除く

4.1. 接続可能機種

ADVANCE シリーズのメーター、ディスプレイが接続可能です。(ADVANCE A1、ADVANCE FD 等)

そのほか Defi Sports Display F (DSDF) が接続可能です。

△ADVANCE シリーズのメーター、ディスプレイの中には生産終了になっているものもあります。生産終了したシリーズも接続可能です。(ADVANCE CR、ADVANCE ZD 等)

4.2. DF17701/02/03 と DF07701/03 の相違点

品番	製品名	生産期間
DF07701 DF07703	Defi-Link ADVANCE Control Unit (生産終了)	～2022年11月 (生産終了)
DF17701 DF17702 DF17703	Defi-Link ADVANCE Control Unit SE	2022年12月～

項目		DF07701	DF07703	DF17701	DF17702	DF17703
外観	ユニット本体のパネルデザイン(右下部のマーク)	なし	03	SE/SE BLK	SE SKY	SE SAKURA
	ユニット本体の電源確認マークの色	青		白	水色	桃
	ユニット本体のケース色	黒			グレー	
	スイッチのパネルデザイン	次ページ参照				
機能	3分間メモリー(記録)及び再生	可		不可		
	ADVANCE FD/ZD接続時の時計表示	ZDのみ可		不可		
	油圧ワーニングのブザー停止	不可		可		
	イルミネーションのパルス入力対応	不可		可		

■油圧ワーニングのブザー停止について

DF177 シリーズでは油圧のワーニング設定値を 0kPa とすると、アイドルストップ中などで油圧が 0kPa になってもブザーが鳴らなくなります。

⇒[9.7.2 ワーニングブザー ON/OFF の変更](#)

■イルミネーションのパルス入力対応について

イルミコントロール搭載車両(欧州車などイルミ信号がパルス制御されている車両)において、DF077 シリーズでは ADVANCE CAN Driver(DF156 シリーズ)を併用しないと照明が正常に動作しませんでした。DF177 シリーズではイルミコントロール信号をイルミのオンオフ信号として入力することができます。

△DF077 シリーズは生産終了しています。メーターとセットになった製品に含まれるユニットは、一部生産期間が異なる場合があります。

△DF17701 の初回生産 1,000 台は限定版「Black edition」で、通常版とユニット本体のパネルデザインが異なります。

4.2.1. パネルデザイン

DF177 シリーズ DF177 series

DF17701 通常版 SE Regular edition

DF17701 限定版 SE Black Limited edition

DF17702 限定版 SE SKY Limited edition

DF17703 限定版 SE SAKURA Limited edition

DF177 シリーズ スイッチ
DF177 Series Switch

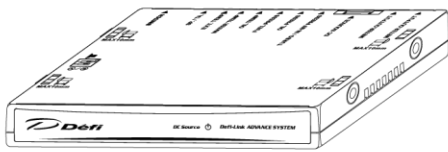
DF077 シリーズ (生産終了) DF077 series (EOL)

DF07701

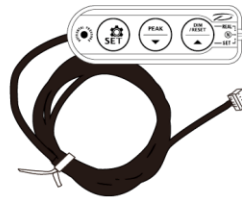
DF07703

DF077 シリーズ スイッチ
DF077 Series Switch

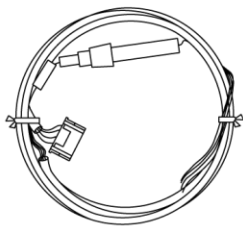
5. 構成部品(お客様・取り付け業者様へ)



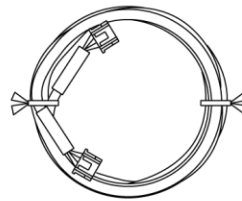
アドバンスコントロールユニットSE 1ヶ



スイッチユニット
(ハーネス1.5m) 1ヶ



電源ハーネス(1m) 1ヶ



メーターハーネス(2m) 1ヶ

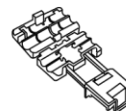
付属品



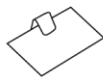
両面テープ 1ヶ



タイラップ 2ヶ



エレクトロタップ 4ヶ



ピタック 1ヶ



六角ナット 4ヶ



ネジ 4ヶ

△ 上記以外にスタートガイド、保証書が同梱されています。紛失しないよう、保管してください。

6. 補修・オプションパーツ(お客様・取り付け業者様へ)

補修パーツ品名	品番
AD電源ハーネス (1m)	PDF07702H
ADコントロールユニット付属品セット	PDF07703G
ADメーターハーネス (2m)	PDF07710H
ADスイッチユニット(ハーネス一体式 1.5m)	PDF17703G

AD=ADVANCE(アドバンス)システム専用

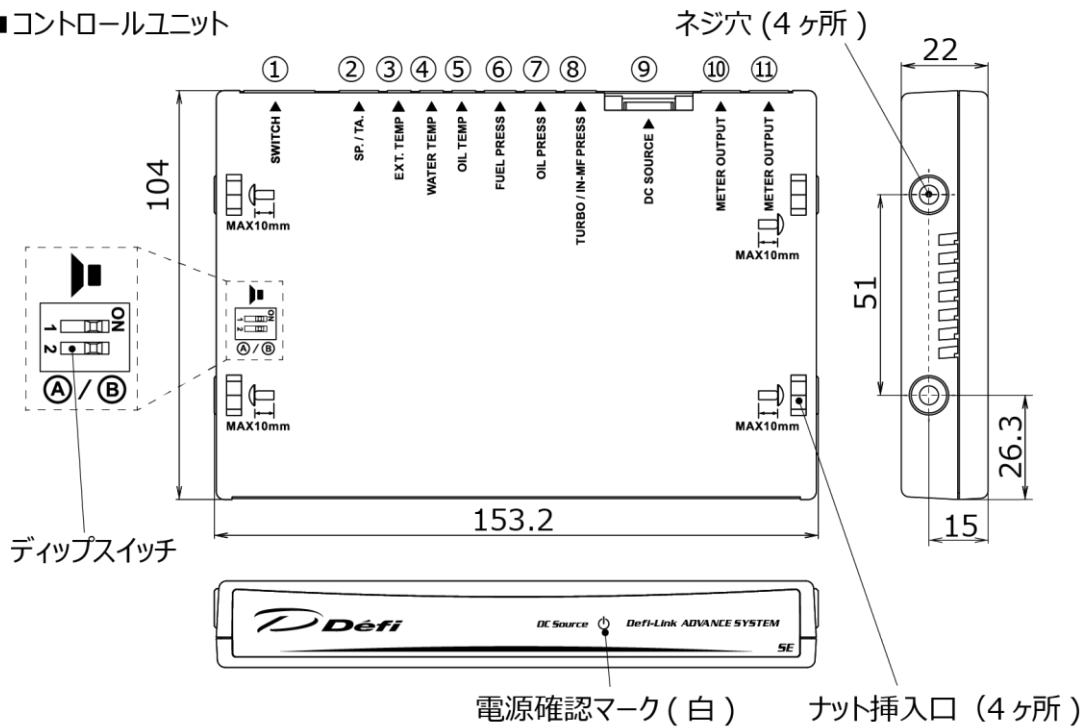
オプションパーツについては Web サイトの[パーツリスト](#)および[パーツ検索](#)をご参照ください。

📌 最新の情報は Web サイトまたはお客様相談室にてご確認ください。

7. 各部名称・寸法(お客様・取り付け業者様へ)

単位：mm

■コントロールユニット



●ディップスイッチ 1&2

- 1:ワーニングブザー ON/OFF 切替
- 2:オープニング・エンディング変更

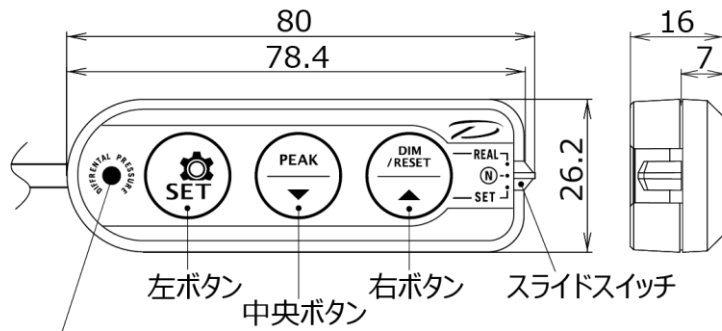
●ハーネス接続用コネクタ

- ①スイッチユニット (白)
- ②車速・エンジン回転数信号ハーネス (青)
- ③排気温度センサーハーネス (黒)
- ④水温センサーハーネス (ピンク)
- ⑤油温センサーハーネス (赤)
- ⑥燃圧センサーハーネス (赤)
- ⑦油圧センサーハーネス (黒)
- ⑧ターボ / インマニセンサーハーネス (水色)
- ⑨電源ハーネス (ベージュ)
- ⑩メーターハーネス (白)
- ⑪メーターハーネス (白)

△メーターハーネスは⑩と⑪のどちらにもつなぐことができます。出荷時は⑪のメスコネクタに端子間ショート保護用のオスコネクタが差し込んであります。⑪を使わない場合はオスコネクタは外さないでください。⑪を使う場合はオスコネクタのロックを押して外してからメーターハーネスを接続してください。

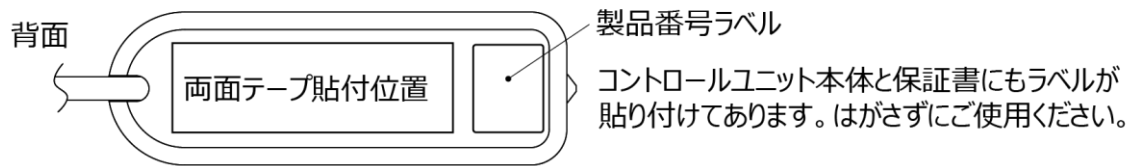
△コントロールユニット本体の前面パネル初回限定版のデザインは上図とは一部異なります。

■スイッチユニット



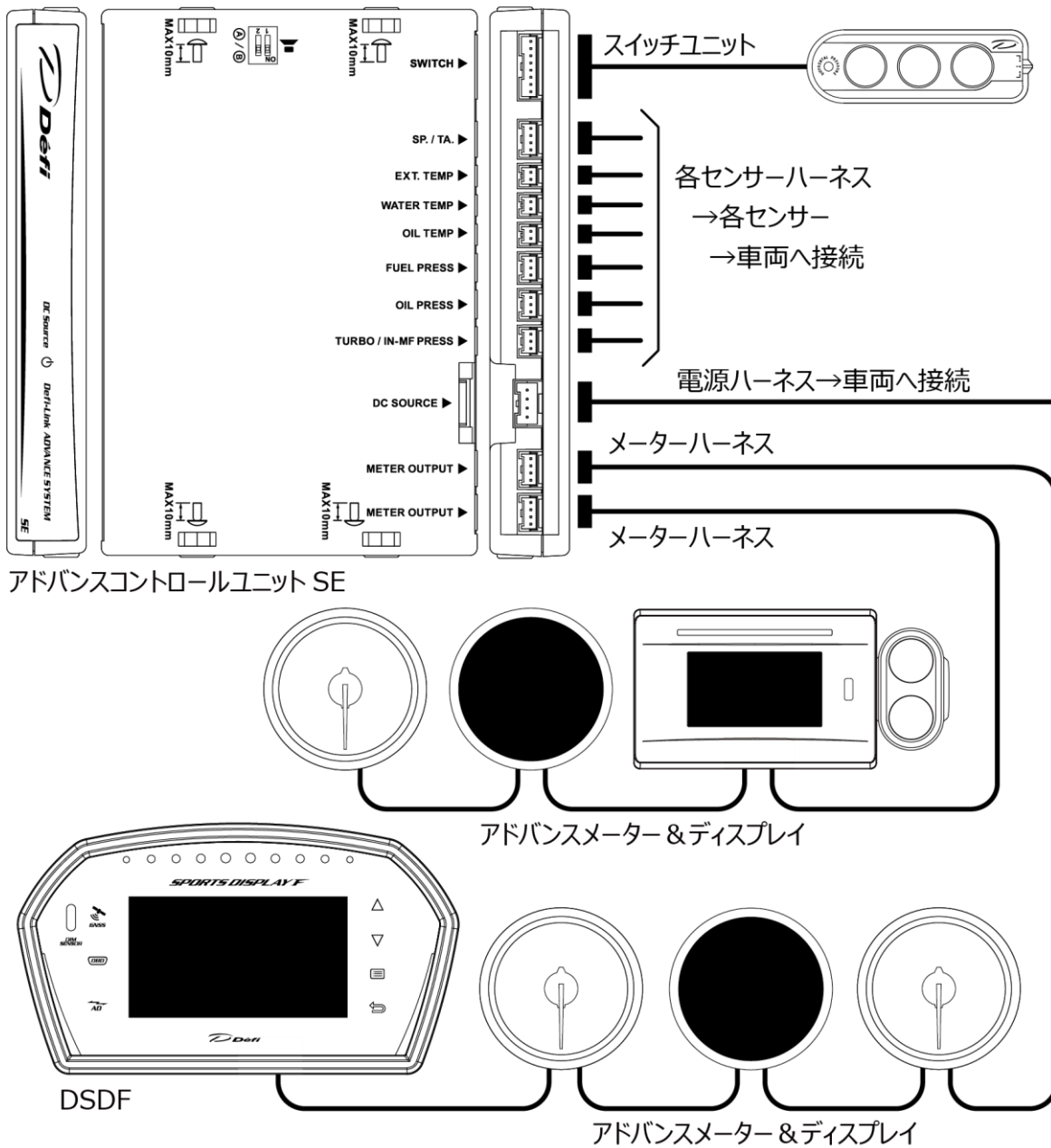
左ボタン 中央ボタン 右ボタン スライドスイッチ

差圧表示インジケータ（青）



製品番号ラベル
 コントロールユニット本体と保証書にもラベルが
 貼り付けてあります。はがさずにご使用ください。

■アドバンスシステム接続全体図



メーターハーネスは 2 箇所ある METER OUTPUT のコネクターのどちらにも接続できます。

アドバンスコントロールユニット 1 台にアドバンスシリーズのメーターとディスプレイを合わせて 7 台まで接続可能です。
DSDF(DF159 シリーズ)もリンクでき、7 台のカウントとは別に接続可能です。

それぞれのラインに最大 7 台まで接続可能です。(例：片方に 7 台つなぐともう一方は 0 台)

同一表示(機種)のメーターは同時に接続できません。(例：ターボ計を 2 台)

ただし、ディスプレイを複数台同時に接続することは可能です。

8. 取り付け方法(お客様・取り付け業者様へ)

8.1. 内容物の確認

パッケージの内容物に不足している部品がないか確認します。

⇒5 構成部品(お客様・取り付け業者様へ)

8.2. 全体の流れ

1. 取り付けに必要な部品(アタッチメント類)を確認し、準備します。

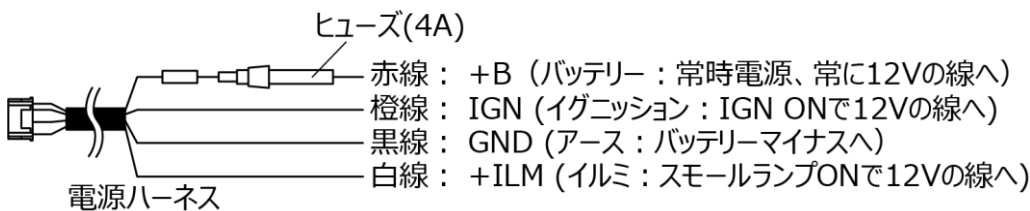
⇒各メーター・センサーの取扱説明書参照

❗アタッチメント類は別途市販品をご購入ください。

2. 車両の電源(+B、GND、IGN、ILM)取り位置とセンサー取付位置を確認します。

3. バッテリーのマイナス(-)ターミナルを外します。

4. 電源ハーネスを車両に配線します。



⇒8.4 ハンダ付けのやり方・エレクトロタップの使い方

⚠警告

⊙IGN は ACC(アクセサリ電源)に配線しないでください。IGN を ACC に配線すると車両の故障や事故の原因となります。

5. 電源ハーネスをアドバンスコントロールユニットのコネクターに接続します。一旦バッテリーのマイナスターミナルを接続、イグニッションを ON にしアドバンスコントロールユニットの前面にある電源確認マークが点灯することを確認してください。

確認

△電源が正常に配線されていないと LED は点灯しません。点灯しない場合は再度配線をご確認ください。

6. バッテリーのマイナスターミナルを外し、各センサーを取り付けます。
⇒各メーター・センサーの取扱説明書参照
7. 各センサーにセンサーハーネスを接続し、アドバンスコントロールユニットに接続します。
8. 配線・接続確認のために、一旦メーターハーネスを使用してメーター・ディスプレイとアドバンスコントロールユニットを接続します。メーターはハーネスのみの仮接続のため、ホルダーに入れて固定しないでください。

△注意

○METER OUTPUT のコネクターを 1 箇所しか使用しない場合は、ショート防止のため保護用のオスコネクターは外さないでください。

9. バッテリーのマイナスターミナルを接続します。
10. イグニッションを ON にし、電源確認マークが点灯することを確認してください。電源ハーネスが正常に配線されている場合、アドバンスコントロールユニットの電源確認マークが白く点灯します。また、車両のイルミを ON にし、RS/CR メーターの照明が点灯、または A1/BF メーターが減光、またはディスプレイのスイッチ照明が点灯することを確認してください。

●電源確認マークが点灯しない場合：電源が取れていない

→イグニッションを一旦 OFF にし、電源ハーネスの配線をご確認ください。

●メーター内のワーニング LED が点滅している、またはワーニング LED とピーク LED が同時点滅している場合：センサーやセンサーハーネスの配線がショートやオープンになっている、またはメーターとアドバンスコントロールユニット間のどこかで通信ができない

→イグニッションを一旦 OFF にし、センサー、センサーハーネスの配線をご確認ください。

⇒[9.4.2 オープン・ショート・シリアル通信のエラー表示](#)

△警告

❶配線に抜けなどの異常が見当たらない場合は、製品が故障している可能性があるので、速やかに製品を外し検査依頼をしてください。車両にダメージを与える可能性があります。

⇒[11 保守・点検・保証・アフターサービス\(お客様・取り付け業者様へ\)](#)

11. イグニッションを OFF にします。

12. 一度メーターからメーターハーネスを外し、メーターホルダーを使用してメーターを取付位置に設置します。しっかりと取り付けられていることを確認し、メーターハーネスを接続します。

⇒各メーターの取扱説明書参照

13. スイッチユニットをアドバンスコントロールユニットに接続し、任意の位置にスイッチユニットを両面テープで固定します。固定する部分の汚れは拭き取っておいてください。

⇒7 各部名称・寸法(お客様・取り付け業者様へ)

14. アドバンスコントロールユニットのディップスイッチ 2 個を設定します。

●ディップスイッチ 1: ブザーの ON/OFF を設定

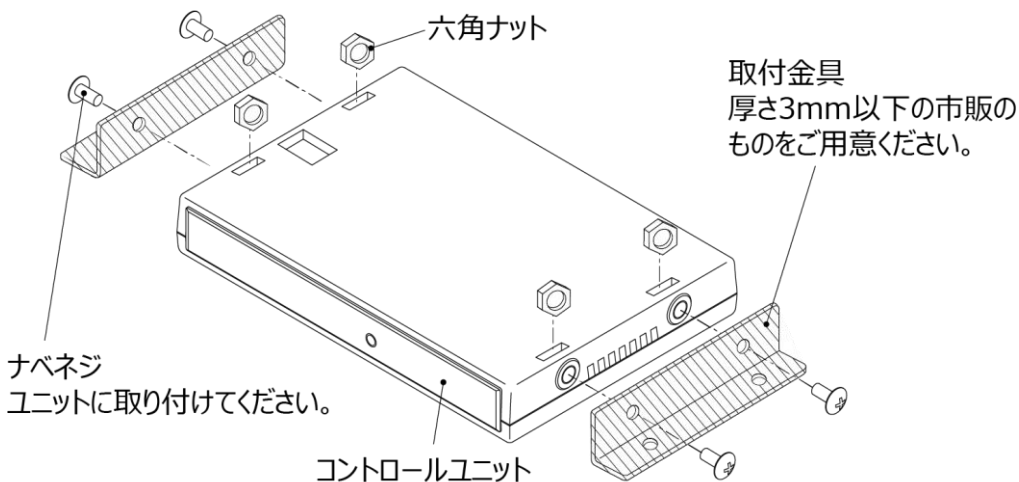
●ディップスイッチ 2: イグニッションを ON/OFF にしてオープニング・エンディングモードを A・B の 2 種類から選択

⇒7 各部名称・寸法(お客様・取り付け業者様へ)

⇒9.7.2 ワーニングブザー ON/OFF の変更

⇒9.3 オープニング・エンディングモード

15. 設定が終了したら、アドバンスコントロールユニット付属の六角ナットとネジ、市販の取付金具を使用して固定します。



確認

⊙ 本製品及びメーターは防水構造ではありませんので足元や水のかかりそうな場所には設置しないでください。

⊙ 付属のネジ以外は使用しないでください。アドバンスコントロールユニットの内部を損傷させる恐れがあります。

Ⓛ 付属のネジで固定するため、取付金は厚さ 3mm 以下のものをご用意ください。

Ⓛ 設定は後で変更可能です。アドバンスコントロールユニット固定後もディップスイッチが操作できるように取り付けてください。

△ブザーはアドバンスコントロールユニットに搭載されています。運転席から離れた場所やダッシュボードの中などに取り付けると音が聞こえづらくなる場合があります。

8.3. 取り付け最終確認

△警告

❶ 取り付けの最終仕上げとして以下項目を必ず実施してください。さもないと重大な事故が発生する恐れがあります。

取り付け配管が確実に接続され、配管の差し忘れや誤配線、及び液漏れ、排気漏れがないことを確認してください。

ハーネスやアドバンスコントロールユニットなどがエンジンルーム内で作動装置(ラジエーターファン、スロットルボディなど)と干渉していないことを確認してください。

センサー本体やハーネスなどが運転の妨げにならないように、確実に固定されていることを再度確認してください。

メーター取り付けの際に取り外した車両側の内装、ハーネス類が元通りに戻されていること、エンジンコンピュータなどのコネクターの挿し忘れがないことを、再度確認してください。

△警告

❶ 作業終了後は必ず、運転席やエンジンルームに何も無いことを確認してください。運転席の足下に使用した工具類などがあると、ブレーキペダルの下に挟まり、ブレーキ操作が出来なくなるなどの恐れがあり大変危険です。また、エンジンルームに使用した工具があるとエンジン破損の恐れがあり大変危険です。

バッテリーのマイナスターミナルをはずれないようにしっかりと取り付け、ボンネットを確実に閉めてください。

以上で取り付けは終了です。

確認

❶ アドバンスコントロールユニット・スイッチユニットには透明の保護フィルムが貼ってあります。ご使用前にはがしてください。はがさずにご使用になると、経年劣化によりのがり変質し、フィルムがはがれなくなる場合があります。

8.4. ハンダ付けのやり方・エレクトロタップの使い方

△注意

- ❶ ハンダ付けで火傷をしたり、配線にあたり手を切傷することがないように、手袋を着用してください。
- ❷ 配線する際は、できるだけハンダ付けで行い、接触不良を起こさないように確実に配線してください。

■ハンダ付けのやり方

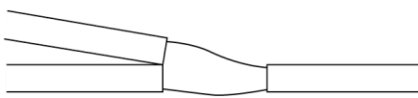
(1)配線の被覆を剥く



(2)剥いた配線を巻き付ける



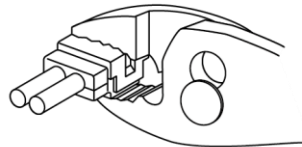
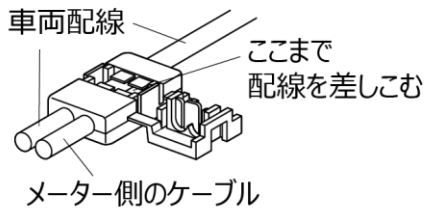
(3)ハンダを盛る (ハンダがよく浸透したのを確認する)



(4)絶縁テープをしっかりと巻く



■エレクトロタップの使い方



左右のツメがロックしたことを確認
※プライヤーを使用してください。ラジオペンチでは加締め不良になる場合があります。

確認

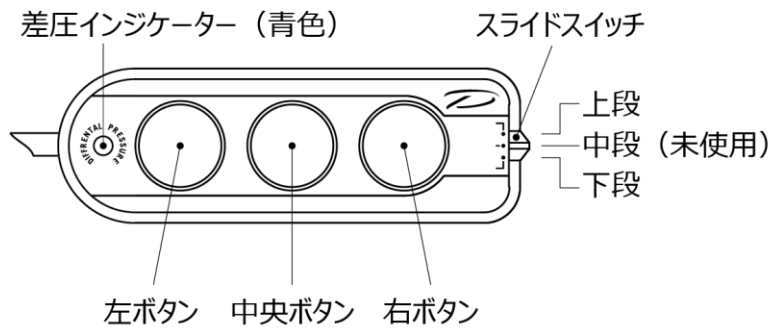
- エレクトロタップの指定範囲より太い芯線には使用しないでください。芯線が断線し、発熱の恐れがあります。
- ❶ 製品に付属のエレクトロタップは芯線径 0.3～0.75mm 用です。必ず指定範囲内でご使用ください。

9. 使用方法(お客様へ)

9.1. スイッチ・ボタン呼称

本書では操作するスイッチ・ボタンに応じて、それぞれ以下のように表記します。

コントロールユニット付属スイッチ 照明色：白



△注意

⊙スイッチは過剰な力で押さないでください。破壊に繋がるおそれがあります。

9.2. 各種設定・動作確認

使用方法の説明では、ボタンの押し方が「押す」方法と「長押し」方法の 2 種類出てきます。「押す」の場合は 1 秒未満ボタンを押してください。「長押し」の場合は 1 秒以上ボタンを押してください。

1. イグニッションを ON し、アドバンスコントロールユニットの電源確認マークが点灯していることを確認してください。

⇒7 各部名称・寸法(お客様・取り付け業者様へ)

2. オープニングモード表示(その後、リアルモード表示)が行われることを確認してください。

⇒9.3 オープニング・エンディングモード

3. メーター・ディスプレイにオープン・ショートのエラー表示が出ていないことを確認してください。

⇒9.4.2 オープン・ショート・シリアル通信のエラー表示

エラー表示が出ている場合

→イグニッションを一旦 OFF にし、エラー表示が出ているセンサー及びセンサーハーネスをご確認ください。

4. タコメーターを取り付けている場合は気筒数と応答性を設定してください。

ディスプレイを取り付けている場合はシステムセットアップモードでタコメーターの設定を行います。ディスプレイの設定は接続されているタコメーターにも適用されます。ディスプレイの操作方法は各ディスプレイの取扱説明書をご参照ください。

⇒9.5 気筒数設定モード

⇒9.6 タコメーター応答性設定モード

タコメーターもディスプレイも取り付けしていない場合は次のステップへ

5. 各メーター・ディスプレイのワーニング値と各メーターの照明色を設定してください。メーターとディスプレイのワーニング値は一度の操作で同時に設定されます。

⇒9.7.3 照明色の変更

6. メーター・ディスプレイが正常に動作することを確認してください。確認ができれば設定は終わりです。

⚠警告

🔊 設定・確認は必ず車を停止した状態で行ってください。

9.3. オープニング・エンディングモード

イグニッションを ON するとメーター・ディスプレイがオープニングモードを行います。また、全ての状態においてイグニッションを OFF するとメーター・ディスプレイがエンディングモードを行い、モード終了後にアドバンスコントロールユニットとメーターの電源が切れます。

確認

△車両によってはキーを OFF にしてもイグニッションがすぐに OFF にならない場合があります。その場合は、車両のイグニッションが OFF になるまでエンディングモードは行なわれません。

△設定の途中で OFF にすると設定内容は保存されません。

❶電源ハーネスが正常に配線されている場合、オープニングモード開始時からアドバンスコントロールユニットの電源確認マークが白く点灯します。点灯していない場合や点滅している場合はイグニッションを一旦 OFF にし、配線をご確認ください。

⇒8 取り付け方法(お客様・取り付け業者様へ)

9.3.1. オープニング・エンディングモードの変更

アドバンスコントロールユニットに付いているオープニング・エンディングモード切替用のディップスイッチ 2 をスライドさせることで、オープニング/エンディングモードをシンプルな A タイプとこだわりの B タイプの 2 種類から選ぶことができます。

A・B タイプともにメーター指針の動きやデジタル表示、その他にもピーク&ワーニング LED、文字板リング照明、文字板照明の点灯・点滅・色の変化、ディスプレイのシーケンシャルインジケーターなどによる演出があります。切り替えて実際の演出をご確認ください。

確認

❶モードの変更はイグニッション OFF 時に行ってください。

△接続している全てのメーター・ディスプレイのモードが切り替わります。

△外光の明るさによっては照明が点灯していることがわかりづらい場合があります。

9.4. リアルモード

スライドスイッチ位置：【上段】

オープニングモード終了後にリアルモードへ移行します。リアルモード中は車両情報をリアルタイムに表示します。

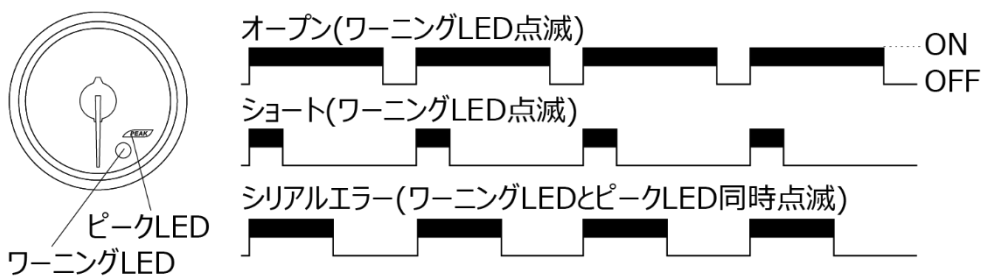
9.4.1. ワーニング

設定したワーニング値以上で当該メーター内のワーニング LED が点灯します。油圧・燃圧は設定したワーニング値以下でワーニング LED が点灯します。FD は背景色が赤になり、ZD は当該表示が反転します。このとき、ワーニングブザー設定を ON にしている場合はワーニングブザーが鳴ります。

9.4.2. オープン・ショート・シリアル通信のエラー表示

センサーがオープン、またはショートしている場合は当該メーターのワーニング LED が点滅します。ディスプレイはエラーメッセージを表示します。一度オープンかショートのエラー表示が出ると、イグニッションを OFF にするまで点滅が続きます。油圧および燃圧のショートメッセージはショートしている間だけ表示します。

メーター・ディスプレイとアドバンスコントロールユニット間で通信ができなくなった場合は、シリアル通信エラーが表示され、ワーニングとピーク LED が同時に点滅します。



△注意

❗ エラーが表示された場合は速やかにイグニッションを OFF にし、センサーや配線を確認してください。原因がわからない場合は、販売店または取り付けたお店に検査を依頼してください。

9.4.3. 照明

■ ADVANCE RS/CR メーター

車両のイルミスイッチに連動して点灯/消灯します。また、リアルモード中に【右ボタン】を数回押すと、車両のイルミ ON 時に照明を消すことができます。5 回中 1 回消灯します。(イルミキャンセル)

■ ADVANCE A1/BF メーター

リアルモード中に【右ボタン】を押すと、明るさが調整できます。車両のイルミスイッチに連動して昼から夜のモードに切り替わり、昼 5 段階、夜 5 段階の独立した照明の明るさ調整ができます。夜間モード時に【右ボタン】を数回押すと、昼間の最高の明るさにできます。(イルミキャンセル)

■ ADVANCE FD/ZD

FD/ZD は調光センサーを搭載しており、AUTO(自動調光)と MANUAL(手動設定)を選択することができます。

AUTO を選択すると外の明るさに合わせて自動で表示の明るさが調整されます。

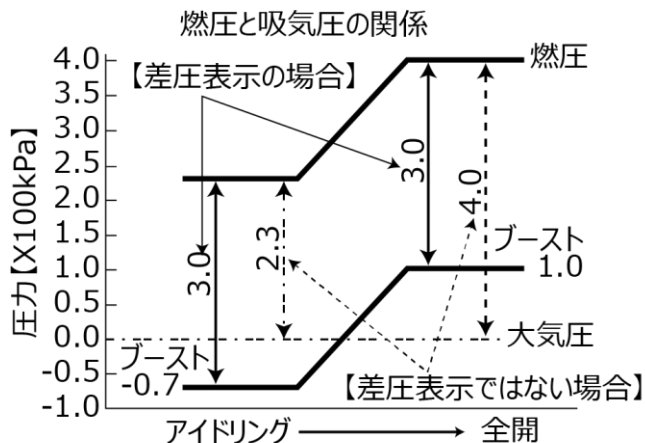
また、メーターと FD または ZD を接続し、調光設定を AUTO にすることにより、RS/CR メーターおよびスイッチユニットの照明の ON/OFF が自動切替となり、A1/BF メーターの照明は自動調光となります。

9.4.4. 差圧表示

ターボ計と燃圧計を取り付けている場合に、燃圧計及びディスプレイで燃圧とインテークマニホールド圧の差を表示することが可能です。(ディスプレイの場合は燃圧センサーとターボセンサーのみでも表示可。) 差圧表示中はスイッチユニットの DIFFERENTIAL PRESSURE(差圧)インジケーター(青色)が点灯します。

差圧インジケーター (青色)





燃圧の差圧表示について

一般的な電子燃料噴射制御車では、燃圧はプレッシャーレギュレーターという装置により、インテークマニホールド圧に対して燃圧が一定になるように設定されています。左図で燃圧を 300kPa で設定した場合、差圧表示を行わない燃圧計では、ブースト 100kPa の時 400kPa を表示します。差圧表示を行うと、300kPa と表示します。

1. スライドスイッチを【上段】に合わせます。
2. 【中央ボタン】と【右ボタン】を同時に押すと燃圧計の表示が差圧表示に変わり、スイッチユニットの差圧表示インジケーターが点灯します。差圧表示を解除したい場合も同様に【中央ボタン】と【右ボタン】を同時に押します。

△ターボ計 3.0 では差圧表示はできません。

9.5. 気筒数設定モード

スライドスイッチ位置：【下段】

タコメーターを取り付けた場合に、気筒数の設定をするモードです。

初期値：4 気筒

ディスプレイを取り付けている場合はディスプレイのシステムセットアップモードでタコメーターの設定を行います。ディスプレイの設定は接続されているタコメーターにも適用されます。ディスプレイの操作方法はディスプレイの取扱説明書をご参照ください。

1. スライドスイッチを【下段】に合わせます。
2. 【左ボタン】を長押しすると気筒数設定モードに移行し、タコメーターのワーニング LED とピーク LED が交互に点滅します。ディスプレイを取り付けている場合はディスプレイのシステムセットアップモードに移行し、LED は点滅しません。また、タコメーターが接続されていない場合は気筒数設定モードには移行しません。
3. 【右ボタン】を押すと気筒数が 1 → 2 → 3 → 4 → 5 → 6 → 8 と変わります。
【中央ボタン】を押すと気筒数が 8 → 6 → 5 → 4 → 3 → 2 → 1 と変わります。
1 気筒であれば 1000rpm を指示、4 気筒であれば 4000rpm、8 気筒であれば 8000rpm を指示します。車両の気筒数に合わせて数字を設定してください。
4. 設定終了後、スライドスイッチを【上段】に戻してください。

9.6. タコメーター応答性設定モード

スライドスイッチ位置：【下段】

タコメーターを取り付けている場合にタコメーターの応答性を設定するモードです。3種類の中から選ぶ事ができます。

初期値：ポジション 1

ディスプレイを取り付けている場合はディスプレイのシステムセットアップモードでタコメーターの設定を行います。ディスプレイの設定は接続されているタコメーターにも適用されます。ディスプレイの操作方法はディスプレイの取扱説明書をご参照ください。

指針の動きを見ながらお好みのレベルに設定してください。

レベル	応答性	指示位置
1	早い	1000rpm
2	中間	2000rpm
3	遅い	3000rpm

1. スライドスイッチを【下段】に合わせます。
2. 【左ボタン】を長押しすると気筒数設定モードに移行し、タコメーターのワーニング LED とピーク LED が交互に点滅します。ディスプレイを取り付けている場合はディスプレイのシステムセットアップモードに移行し、LED は点滅しません。また、タコメーターが接続されていない場合は気筒数設定モード、タコメーター応答性設定モードには移行しません。
3. 気筒数設定モード中に【左ボタン】を長押しするとタコメーター応答性設定モードに移行し、ワーニング LED とピーク LED が点灯します。
4. 【右ボタン】を押すとレベルが 1 → 2 → 3 と変わります。
【中央ボタン】を押すとレベルが 3 → 2 → 1 と変わります。
レベル 1 は 1000rpm、レベル 2 は 2000rpm、レベル 3 は 3000rpm を指示します。
5. スライドスイッチを【上段】に戻してください。

9.7. 設定モード

スライドスイッチ位置：【下段】

任意のワーニング値を設定することで、その値以上になったとき（油圧・燃圧の場合はその値以下になったとき）に当該メーター内のワーニング LED が点灯します。ディスプレイを取り付けている場合は、ディスプレイにワーニング設定画面が表示されます。メーターとディスプレイのワーニング値は一度で同時に設定されます。

また、各 RS/CR メーターの照明色を変更することができます。A1/BF メーター/ディスプレイは照明色の変更はできま

せん。

■ワーニング初期値一覧			設定範囲		点灯条件
メーター	ワーニング初期値	単位	最小値	最大値	
ターボ3.0	166.7	kPa	-100	300	設定値以上
ターボ2.0/1.2	100	kPa	-100	200	設定値以上
インマニ	10	kPa	-100	200	設定値以上
タコメーター	7000	rpm	300	11000	設定値以上
油圧	120	kPa	0	1000	設定値以下
燃圧	150	kPa	0	600	設定値以下
油温	125	℃	0	150	設定値以上
水温	105	℃	0	150	設定値以上
排気温度	850	℃	0	1100	設定値以上

①車の種類やコンディションによってはワーニング初期値以下（油圧・燃圧は初期値以上）でも車両にダメージが加わる場合がありますので、取付時にお店に相談し、設定値を検討してください。

9.7.1. ワーニング値の設定

1. スライドスイッチを【下段】に合わせます。
2. 【左ボタン】を押すと設定モードに移行します。
3. 【左ボタン】を押し、設定する機種を選択します。

	選択機種	未選択機種
RS/CR	ワーニングLED点滅	ワーニングLED消灯
	文字板照明高輝度点灯 (車両イルミON時)	文字板照明低輝度点灯 (車両イルミON時)
A1/BF	ワーニングLED点滅	ワーニングLED消灯
	文字板照明高輝度点灯	文字板照明低輝度点灯

△RS/CR メーターとディスプレイを取り付け、ディスプレイの調光設定を AUTO（自動調光）にしている場合、車両のイルミスイッチ ON/OFF に関わらず、RS/CR メーターの照明は自動で ON/OFF されます。明るい場所で設定すると RS/CR メーターの照明が点灯しない場合があるため、暗い場所に移動するか、ディスプレイの調光センサー部分に手をかざすなどして光を遮断してください。

接続されていない機種は選択されません。選択される順番は以下の通りです。

ターボ/インマニ → タコメーター → 油圧 → 燃圧 → 油温 →
→ 水温 → 排気温度 → ターボ/インマニ (→ 以下繰り返し)

4. 設定したい機種が選択された状態で、【中央ボタン】を押すと設定値が下がり、【右ボタン】を押すと設定値が上がります。それぞれのボタンを長押しすると設定値が速く変わります。

ターボ計（2.0 または 1.2）とインマニ計が両方接続されている場合は、ターボ計（2.0 または 1.2）の設定値がインマニ計の設定値となります。2 台で別の値を設定することはできません。ターボ計 2.0 とターボ計 1.2 の場合はターボ計 2.0 が優先されます。

△同一表示のメーターは同時に接続できません（例：ターボ計 2.0 を 2 台）。

5. 設定終了後、スライドスイッチを【上段】に戻してください。

9.7.2. ワーニングブザー ON/OFF の変更

アドバンスコントロールユニットに付いているディップスイッチ 1（ブザーON/OFF 切替）をスライドさせることでワーニング発生時のブザーの ON/OFF を設定することができます。スイッチ操作音は OFF できません。

油圧はワーニング設定値を 0kPa とすると、アイドリングストップ中などで油圧が 0kPa になってもブザーが鳴らなくなります。

●ON/OFF の変更は IGN OFF 時に行ってください。

△ディスプレイのワーニングブザー設定はディスプレイで行います。ディスプレイの取扱説明書をご参照ください。

9.7.3. 照明色の変更

RS/CR メーターの照明色を変更することができます。A1/BF メーター/ディスプレイは照明色の変更はできません。

1. スライドスイッチを【下段】に合わせます。
2. 【左ボタン】を押すと設定モードに移行します。
3. 【左ボタン】を押し、設定するメーターを選択します。
4. 照明色を変更したいメーターが選択された状態で、【中央ボタン】と【右ボタン】を同時に押すと照明色が変わります。（車両のイルミスイッチを ON にした状態で操作してください。）

CR 白文字板：ブルー⇔アンバーレッド

CR 黒文字板：ホワイト⇔アンバーレッド

RS 黒文字板：クラシックグリーン⇔クラシックホワイト(電球色)

RS/CR メーターとディスプレイを取り付け、ディスプレイの調光設定を AUTO（自動調光）にしている場合、車両のイルミスイッチ ON/OFF に関わらず、RS/CR メーターの照明は自動で ON/OFF されます。明るい場所で設定すると RS/CR メーターの照明が点灯しない場合があるため、暗い場所へ移動するか、ディスプレイの調光センサー部分に手をかざすなどして光を遮断してください。

5. 設定終了後、スライドスイッチを【上段】に戻してください。

9.7.4. ターボ計(2.0 または 1.2)・インマニ計のオフセット調整

ターボ計はイグニッション ON の状態で 0kPa を指しますが、センサーの特性により、まれに指針が 0 の位置から少しずれている場合があります。その場合は指針の位置をオフセット調整することができます。

1. スライドスイッチを【下段】に合わせます。
2. 【左ボタン】を押すと設定モードに移行します。
3. 【左ボタン】を押し、設定するメーターを選択します。
4. 【左ボタン】を長押しすると、ピツという音と同時に調整が完了します。（指針はワーニング値を示します。）
5. 調整終了後、スライドスイッチを【上段】に戻してください。

△ターボ計 3.0 ではオフセット調整できません。

9.8. リアルピークモード

スライドスイッチ位置：【上段】

それまでの走行・アイドリング時の最大値をリアルモード中に表示するモードです。油圧・燃圧は最大値と最小値を切替表示します。リセットするとその時点からのピーク値を表示します。差圧表示をしている場合でも、燃圧計には燃圧のピーク値が表示されます。

■ 油圧・燃圧センサーを接続していない場合

1. スライドスイッチを【上段】に合わせます。
2. 【中央ボタン】を押すとリアルピークモードに移行します。リアルピークモード中はピーク LED が点灯します。
3. 【中央ボタン】を押すとリアルモードに戻ります。

■ 油圧・燃圧センサーを接続している場合

1. スライドスイッチを【上段】に合わせます。
2. 【中央ボタン】を押すとリアルピークモード（ハイピーク）に移行し、全てのメーターが最大値を表示します。リアルピークモード（ハイピーク）中はピーク LED が点灯します。
3. ハイピーク表示中に【中央ボタン】を押すとリアルピークモード（ローピーク）に移行し、油圧計および燃圧計は最小値、それ以外のメーターは最大値を表示します。リアルピークモード（ローピーク）中はピーク LED が点灯します。
4. 【中央ボタン】を押すとリアルモードに戻ります。

9.9.リアルピークリセットモード

スライドスイッチ位置：【上段】

それまでの走行・アイドリング時の最大値（油圧・燃圧は最大値と最小値）をリセットするモードです。

1. スライドスイッチを【上段】に合わせます。
2. 【中央ボタン】を押すとリアルピークモードに移行します。リアルピークモード中はピーク LED が点灯します。
3. リアルピークモード中に【右ボタン】を押すと、ピーク LED が点滅しピーク値がリセットされます。リセット後はリアルモードに戻ります。

ローピークとハイピークどちらの表示のときも最大値と最小値の両方が同時にリセットされます。

10. トラブルシューティング(お客様・取り付け業者様へ)

△警告

❶ 異常を感じたら、必ず点検をしてください。さもないと、重大な事故が発生する恐れがあります。

❷ 使用中、または設定・操作の段階でトラブルが発生した場合、下表を参考に確認してください。あてはまる項目がない場合、または対処をしても改善されない場合は、取り付けたお店・販売店にご相談ください。

症 状	考えられる原因	対処方法
<ul style="list-style-type: none"> ○動作しない。 ○電源が入らない。 ○アドバンスコントロールユニットの電源確認マークが点灯しない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○電源ハーネスの配線が間違っている。 ○電源ハーネスのヒューズが切れている。 ○エレクトロタップのロックが閉まっていない、または接触不良を起こしている。 ○配線のどこかにショートやオープンなどの問題がある。またはメーター、センサーに異常がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○取付方法に基づいて、+B、IGN、GNDの配線を確認してください。 ○配線を確認後、ヒューズを交換してください。 ○エレクトロタップの配線部分を確認してください。 ○取付方法に基づいて、配線とメーターを確認してください。原因がわからない場合は販売店または取り付けたお店に検査を依頼してください。
<ul style="list-style-type: none"> ○メーターのワーニングLEDが点滅する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○センサーやセンサーハーネスにショートやオープンなどの問題がある。またはメーターとアドバンスコントロールユニット間で通信ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○取付方法に基づいて、センサー、センサーハーネスを確認してください。原因がわからない場合は販売店または取り付けたお店に検査を依頼してください。
<ul style="list-style-type: none"> ○エンディングモードを行わない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○+Bの配線が間違っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○取付方法に基づいて、+Bの配線を確認してください。 ○エレクトロタップの+Bの配線部分を確認してください。 ○電源の配線を確認のうえ、販売店または弊社お客様相談室にご相談ください。
<ul style="list-style-type: none"> ○イルミをONしてもRS/CRの照明が点灯しない。またはA1/BFの照明が減光しない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ILMの配線が間違っている。 ○エレクトロタップのロックが閉まっていない、または接触不良を起こしている。 ○イルミキャンセルになっている。 ○FD/ZDの調光設定がAUTOで周囲が明るい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○取付方法に基づいて、ILMの配線を確認してください。 ○エレクトロタップの配線部分を確認してください。 ○使用方法に基づいて、調光設定を変更してください。 ○FD/ZDの調光設定をMANUALに変更するか、暗い場所に移動してください。

症 状	考えられる原因	対処方法
○取り付け前の無通電状態で、指針が真下からずれている。	○製品の運搬中にメーターの指針が動いた。	○ステッピングモーター固有の特性で、無通電の状態ではメーターに軽い衝撃が加わると指針が動く場合があります。製品を動作させてから、イグニッションキーをOFFしたときに指針が真下に戻ることを確認してください。真下に戻らない場合は販売店または弊社お客様相談室にご相談ください。
○エンジン回転数が正常に表示されない。	○エンジン回転数信号の配線が間違っている。 ○気筒数設定が間違っている。	○Webサイトの適用車種検索に基づいて、配線を確認してください。 ○本取扱説明書の車速・エンジン回転数信号ハーネスの配線方法に従って配線確認をしてください。 ○ご使用方法をご覧ください、気筒数設定を確認してください。
○純正メーターよりエンジン回転数表示が少し低い。	○純正のタコメーターは実際のエンジン回転数より最大で10%程度高い場合がある。	○純正のタコメーターとの差が最大で10%程度か確認してください。本製品は精度を最重視しているため、実際の値に対しほとんど誤差はありません。10%程度であれば正常です。大きく異なる場合は気筒数設定を確認してください。
○シリアルエラー表示が出る。	○メーターとアドバンスコントロールユニット間で通信ができない。	○配線方法に基づいて、メーターハーネスを確認してください。原因がわからない場合は販売店または取り付けたお店に検査を依頼してください。
○取り付けしているメーターの全てが動作しない。	○メーターハーネスかセンサーハーネスのどこかにショートやオープンなどの問題がある。 ○メーターの1つ以上に異常がある。	○センサーが故障している場合は交換する必要があります。販売店または取り付けたお店に検査を依頼してください。 ○配線方法に基づいて、メーターハーネスやセンサーハーネスを確認してください。原因がわからない場合は販売店または取り付けたお店に検査を依頼してください。

11. 保守・点検・保証・アフターサービス(お客様・取り付け業者様へ)

■ 保証書・保証規程について

本製品には保証書が入っております。また、保証書の裏面に保証規程を記載しております。本製品は保証規程の内容に従って保証されています。よくお読みになり、記入事項をご確認の上、大切に保管してください。保証書の提示がない場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

■ 保証期間

保証期間はご購入から **1 年**です。購入時、ご購入いただいた販売店が保証書に記載されていることをご確認ください。詳細は保証規程をご覧ください。

△本製品を使用されて発生した違反、事故等に関するもの、誤配線等、本製品の製造不良以外による車両トラブルについては一切責任を負いかねます。

⊙危険ですのでご自身では修理しないでください。保証の対象外となるだけでなく、故障・事故の原因となります。

■ 補修用性能部品の最低保有期間

当社は本製品の補修用性能部品を製造打ち切り後 3 年間保有しております。

(性能部品とはその製品の機能を保持するために必要な部品です)

■ 検査依頼について

取り付けした製品の調子がおかしい、または動作がおかしくなったと感じた場合は、お買い上げいただいた販売店に検査をご依頼ください。Defi 製品は車両への取り付け・配線作業が発生するため、お客様からの直接の検査ご依頼は受け付けておりません。検査・修理は Defi 製品の販売店にご依頼くださいますようお願いいたします。

引っ越しや販売店の閉店等の理由により、お買い上げいただいた販売店に行くことができない場合はお近くの Defi 製品取扱店にご依頼いただくか、Defi お客様相談室までお問い合わせください。

① 検査を依頼される際には、製品の他に保証書とお客様情報を必ずご提示ください。

中古製品を購入しご使用される場合や、中古車を購入し取り付けられていた製品をご使用いただく場合は、必ず Defi で点検(有償)してからご使用ください。また、5 年以上ご使用になった場合も Defi で点検(有償)してください。

取り付け後も製品本体、ハーネス、センサー部などを定期的に点検し、異常がないことをご確認の上、十分注意してご使用ください。

お客様情報

検査を依頼する際には、お店の担当者に以下のことをおことづけください。

1 お客様のご連絡先		
郵便番号・住所		
氏名		
電話番号		
メールアドレス		
2 購入店と取り付け作業先（連絡先）		
3 取り付けている車両の情報		
車種		
年式		
型式		
エンジン型式		
排気量		
ギアミッション（MT/AT）		
リミッターカット	有	無
純正タコメーター	有	無
エンジン載せ換え	有	無
社外点火システムへの変更	有	無
ECU 変更	有	無
センサー取付方法		
その他の仕様		
4 お使いの Defi 製品 (検査依頼する製品以外にも取り付けている場合はその製品も)		
5 動作の状況 (いつ？何をしたら？どの製品が？何がどうなったのか？その後の状況は？)		

■ ラベルについて

製品に貼ってあるラベルは製品情報を特定するためのものです。絶対に剥がさないでください。

■ 廃棄方法について

製品を廃棄する際は、廃棄物処理法及びお住まいの自治体のルールに従って処理してください。パッケージについてはリサイクルが可能です。(パッケージに記載されているリサイクルマークをご覧ください。)

デフィリンクアドバンスコントロールユニットエスイー取扱説明書

- 発行 第3版 2024年3月
- 製造元 日本精機株式会社
- 連絡先 日本精機株式会社 Defi お客様相談室

【住所】〒940-8580 新潟県長岡市東蔵王2丁目2-34 日本精機株式会社 Defi

【電話番号】(0258)24-5221 (Japanese only)

【受付時間】10:00~12:00, 13:00~17:00 (土・日曜、祝日、当社休日を除く平日)

【Webサイト】 <https://www.nippon-seiki.co.jp/defi/>

【YouTubeチャンネル】 <https://www.youtube.com/user/NSDefi>

【Facebook ページ】 <https://www.facebook.com/Defi.Gauges/>

【Instagram アカウント】 https://www.instagram.com/defi_ns_official/



Web サイト



YouTube



Facebook



Instagram